

プレスリリース

2020 年に向けて LGBT とスポーツをテーマとした情報発信拠点 「プライドハウス東京」の設立計画を発表

2017 年 4 月 4 日

認定 NPO 法人
グッド・エイジング・エールズ

「LGBT と、いろいろな人と、いっしょに」をコンセプトに、住まい・職場・サードプレイス・スポーツイベントなど様々な場づくりを通してセクシュアル・マイノリティに関する理解促進活動を行う認定 NPO 法人グッド・エイジング・エールズ（東京都渋谷区、代表：松中権）は、2020 年東京オリンピック・パラリンピック夏季大会のタイミングを目指して、LGBT とスポーツをテーマとした情報発信拠点「プライドハウス東京」を設立する計画を発表した。

「プライドハウス」とは、2010 年バンクーバー冬季大会にあわせて世界で初めて設立された期間限定の情報発信施設で、LGBT をはじめとしたセクシュアル・マイノリティに関する正しい理解を広げるための情報や、LGBT 当事者および支援者の選手や家族、大会観戦のために訪れた観光客が安心して過ごすことのできる空間を提供することを目的とするもの。2010 年以降は、ロンドン・グラスゴー・トロント・リオなど、大型の国際スポーツ大会の開催にあわせて、地元の NGO や NPO が主体となり「プライドハウス」の設立・運営がなされている。

認定 NPO 法人グッド・エイジング・エールズは、過去の「プライドハウス」設立運営団体および今後の「プライドハウス」設立運営団体からなるネットワーク「プライドハウス・インターナショナル」(www.pridehouseinternational.org) が、2014 年夏にカナダ・トロントでの Pan American Games 大会にあわせて開催した国際カンファレンスに参加。同ネットワークや加盟団体との協議や意見交換を重ね、今回の設立計画の発表に至った。

現在の「プライドハウス東京」計画では、セクシュアリティを問わずあらゆる人が安心して過ごせる場所を提供する機能（施設機能）を中心に、LGBTに関する日本の地域情報や文化情報を提供する機能（情報機能）、LGBTとスポーツという視点での課題やその解決方法を学ぶことのできる機能（教育機能）、地域の住民や来訪者を問わず参加できるスポーツイベント等を実施する機能（参加機能）という4つの機能を提供することを目指す。

今後は、「プライドハウス東京」の詳細計画の検討に向けた意見を収集するために、2017年夏をめどに有識者によるアドバイザリー・ボードを開催するとともに、「プライドハウス東京」に関する最新情報をFacebookファンページにて提供していく。あわせて、同NPO法人とともに2020年に向けてLGBTとスポーツに関する世の中の意識や機運を高めていくことを目指し、様々なイベントやワークショップ等を協力して企画運営する「プライドハウス東京ムーブメント」の賛同団体を募る。

なお、「プライドハウス東京」設立準備に向けたプロジェクトの代表は認定NPO法人グッド・エイジング・エールズ代表の松中権が務める。また、今後、同NPO法人内に事務局を設置し、同NPO法人の町野正和が事務局長を務める。現時点で「プライドハウス東京」を設立する場所や期間については未定。

<「プライドハウス東京」関連WEBサイト>

◎「プライドハウス東京」Facebookページ

(www.facebook.com/PrideHouseTokyo)

◎「プライドハウス・インターナショナル」

(www.pridehouseinternational.org)

◎認定NPO法人グッド・エイジング・エールズ (goodagingyells.net)

<「プライドハウス東京ムーブメント」>

◎賛同団体（※2017年4月4日現在 今後も賛同を募って行きます）

NPO法人東京レインボープライド

NPO法人虹色ダイバーシティ

NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

NPO 法人ふれいす東京

NPO 法人 ReBit

NPO 法人レインボーリール東京

<「プライドハウス東京」事務局>

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-33-18

認定 NPO 法人グッド・エイジング・エールズ内

問合せ) info@goodagingyells.net